



ちよつとずつEEO



みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

大崎町役場では、『チーム・マイナス6%』に参加し地球温暖化防止運動に取り組んでいます。

本町では、平成17年度3月に『大崎町行政改革大綱2005』を策定し、その一環として、エコチャレンジ推進委員会を設置し、環境問題に取り組んでいます。

また、国においては、地球温暖化防止の施策として『京都議定書』を発効し、CO²などの温室効果ガス排出量を1990年に比べて6%削減することが義務づけられました。

そこで、政府の地球温暖化対策推進本部では、この目標達成に向けて、国民一丸となって取り組む『チーム・マイナス6%』運動を推進しています。

このようなことから、本町でも国と同様に取り組んでいかなければならない共通の課題であると認識し、『チーム・マイナス6%』に参加していますのでお知らせします。

なお、チームの一員として、取り組むべき内容としましては、下記の6項目です。

1. 冷房は28度に設定しましょう
2. 蛇口はこまめにしめよう
3. エコ製品を選んで買おう
4. アイドリングをなくそう
5. 過剰包装を断ろう
6. コンセントをこまめに抜こう

この『チーム・マイナス6%』は、個人や企業・団体など、どなたでも参加できます。私たちひとりひとは、小さいことしかできないかも知れません。でも、この地球のために、将来を担う子供たちのために、できることから『ちよつとずつ』動いてみませんか。

新聞紙等の古紙は、町の貴重な益金となっています！

収集所に集まる資源ゴミは、貴重な資源で、特に空き缶や紙類は有価物として町の収入源になります。この売買益金は各集落へ協力金として還元され、さらには、地球温暖化防止対策推進事業～省エネ家族・応援プラン～（広報おおさき4月号掲載）の実施の為の財源となっています。

大部分の資源ゴミは、『そおりサイクルセンター』で処理され、紙類については、隣接された（株）山崎紙源センターで収集し、トイレットペーパー等にリサイクルされています。

最近、新聞紙、チラシの回収量が減少しております。町の貴重な益金確保のためにも、できるだけ新聞紙、チラシを資源ゴミ収集所へ持って行っていただくようお願いいたします。

新聞紙は、貴重な財源となりますので、資源ゴミ収集所へ持って行っていただくようお願いします。



▲山崎紙源センター
曾於郡大崎町菱田字浜川原 2613-1



▲新聞紙・チラシは、資源ゴミ収集所へ出しましょう！